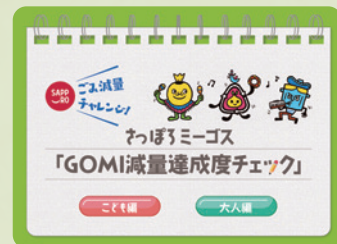




「GOMI減量達成度チェック」

普段どれくらいごみを減量できているかセルフチェックできる「GOMI減量達成度チェック」。自分の達成度がわかり、ごみ減量のためのポイント解説も。みんなの回答を集計し、達成度のベスト3やワースト3も発表！ 子ども編と大人編があるので、ぜひ家族で挑戦してみて。



チェック例

子ども編

- ・給食やおうちのごはんは残さず食べる。
- ・賞味期限と消費期限の意味を知っている。

大人編

- ・リユースショップやフリマアプリなどで中古品を購入している。
- ・生ごみを捨てる際、なるべく重さを減らす工夫をしている。

自分の達成度が分かる！



みんなの回答を集計して発表！



GOMI減量達成度チェックをやってみよう！



大人編に挑戦すると応募できるプレゼントキャンペーンも！

【参加対象】達成度チェックに参加した札幌市民(18歳以上)

【参加方法】挑戦後、エントリーフォーム表示

サーキュレーターや水筒など、エコアクションに役立つプレゼントが抽選でもらえる！

11月30日(土)まで

「ごみ減量・分別博士検定」もチェック！

設問に答えて、ごみを減量・分別についてどれくらい知っているか確認しよう。ごみの分別について楽しく学べるゲームも！



挑戦してみよう！



家庭でできることは？ ごみの3Rを心がけよう！

3Rとは・・・Reduce(リデュース)、Reuse(リユース)、Recycle(リサイクル)といったアクションの総称。

Reduce リデュース

ごみの発生や資源の消費自体を減らす、ごみ減量のための重要アクション。「マイボトルを持ち歩き、使い捨て容器を減らす」「レジ袋など、ごみになるものはもらわない」「野菜の皮も余さず工夫して料理する」など。

Reuse リユース

まだ使えるものを繰り返し使うこと。「フリーマーケットなどで必要な人に渡す、必要なものを買う」「洗剤などは詰め替え用を購入し、ボトルを再利用する」など。

Recycle リサイクル

資源として再び利用すること。「びん・缶・ペットボトルや容器包装プラスチックなどを資源ごみとして出す」「新聞やダンボールを資源回収に出す」など。

みんなのごみ減量アイデア

読者モニター miiiさん

衣服や小型家電、ペットボトルは、持っていくとクーポンやポイントがもらえるところに出ています。

読者モニター Shizukaさん

マイボトルを、毎日職場に持っていきます。水出しのアイスコーヒー・紅茶は、一晩寝かせるだけでお店ながらの味わいが楽しめてお気に入りです！

読者モニター 道産子かんちゃん

シリコンラップを使うようにしてラップを使う頻度を減らしました！エコだし、物価高の今、節約にもなる！

編集 TNさん

無水調理にはまっています。白菜の芯など野菜の固い部分も、野菜の旨味が凝縮＆やわらかくなります。

札幌市職員 WTさん

捨てられがちな大根やカブの葉を細かく切って冷凍しておく、炒め物や汁物などで、薬物がほしいときに手軽に入れられて、ごみ減量にもつながります。

こちらもチェック！
ごみ減量コンテスト
アイデア
結果発表！



マイボトルを持ち歩いて、給水スポットを利用！



～テーマ～ 回収されたごみのゆくえ

毎日出る家庭のごみ。
収集車に運ばれたあとはどうなるの？
焼却処理をする工場を見学してきました！



次々とごみ収集車や個人のごみの持ち込みが。



ごみが集められる「ごみビット」。かなりの深さ・広さにびっくり！

クレーンでごみを掴んで落として、燃えやすいものと燃えにくいものを混ぜてから焼却炉へ。



中央制御室には24時間職員が常駐し、異常がないか点検しているそう。

エネルギーの地産地消！ ごみ発電の電力を地下鉄へ

札幌市では、道内で発電された再エネ電力の地産地消を進める「道内自治体との連携による再エネ電力導入事業」を実施していて、'24年2月には北海道電力と連携協定を締結。'24年4月から3清掃工場で発電された電力の余剰分を、北海道電力を通して地下鉄3路線に供給スタート。

3清掃工場の
余剰分の電力
年間
8,500万
kWh

地下鉄
3路線

年間の消費電力量
約1億2,000万kWhのうち
約70%がゼロカーボン化！

年間約45,000tのCO₂の削減となり、これは一般家庭約10,000世帯分に相当！



さっぽろ 大人の社会科見学

札幌での暮らしを支える仕事のウラガワ、
施設の魅力を編集部が体験レポート！

今回見学したのは

白石清掃工場



平成14年に完成。24時間で300tのごみを焼却できる炉を3つ備える。「白石発電所」の看板も掲げ、焼却の熱を利用して電力を発電。

☎ 011-876-1710
国 札幌市白石区
東米里2170-1

※10名以上の団体で、工場見学を受け付けている。

札幌の3清掃工場でのごみ処理にかかるコストは年間33億7,000万円
温室効果ガス排出量は
年間約22.1万t-CO₂(2022年度)

処理するごみは年間約43万t

札幌にある清掃工場3カ所で焼却処理しているごみは年間約43万t(2023年度)。「燃やせるごみ」と、破碎工場で細かく砕かれた「大型ごみ」などが運び込まれ、24時間・365日稼働している。

有害物質を出さないよう対策！

焼却炉内の温度を850℃以上に保つことで、ごみの中の腐敗物やダイオキシンを無臭化・無害化。最新技術の排ガス処理設備で有害物質の排出を抑えている。また、焼却灰の約40%をセメントの原料にリサイクル。

ごみ焼却の熱を利用して発電

焼却炉の壁面に管を配置し、そこで温められた水が蒸気となり、タービンを回転させることで発電。白石清掃工場では蒸気を高温高压化することで発電効率22%を達成し、最大30,000kW発電が可能だそう。

